

# D1 LIGHTS

## Race report D1Lights Rd5 & Rd6

**NEXT  
10 YEARS**  
D1 GRAND PRIX  
INTERNATIONAL DRIFT CHAMPIONSHIP

# 23 Sayaka.S

D1NEXT10YEARS広報部長



### < D1Lights Rd 5 & Rd 6 リザルト >

於: 栃木県日光サーキット

日時: 2022年7月9日、10日

Rd5: 予選敗退

Rd6: 単走11位(52台中)

追走ベスト8

総合順位8位

シリーズポイントランキング(第6戦終了時)

単走ランキング4位

総合ランキング10位



2022.07.19

直前練習で大クラッシュしてしまったD1Lightsマシンをこの大会に間に合わせて修復頂いたこと。

そして、昨年の日光、目前で取り逃がした優勝に向けて、「日光での〈忘れ物〉を取り戻しに行こう」と、D1GPと並行してのD1Lights参戦をチャレンジさせて頂いたこと。

チームのみんなへの感謝の気持ちでいっぱいです。


日光のRd6、追走トーナメントで「イけるぞ」との思いが強まりましたが、昨年と同じくマシントラブルが起き、結果的にベスト8でリタイヤとなりました。

そんな中でも、皆さんからたくさんのご声援を頂き、心より感謝しております。

D1Lightsは、残すところ9月24日、25日のRd7,Rd8(岡山・備北サーキット)だけとなりましたが、最後まで頑張りたいと思います。

また、8月22日、23日にはD1GP(Rd4、Rd5)EBISU大会が御座います。

D1LightsマシンからD1GPマシンに乗り換え、さらなる挑戦を続けて参りますので、引き続き何卒宜しくお願い申し上げます。

Sayaka's 





Rd6 ベスト16 vs古賀誠進



Rd6 ベスト8 vs伊藤満紀



# REPORT ① 日光ラウンドまでの流れ



奥伊吹の練習で大破したD1ライセンスマシン

日光サーキットは、ドリフトの聖地と呼ばれ、数多くのドリフト大会が開催されているため、このコースを得意とする選手が数多く存在します。この様な理由から日光ラウンドのみスポット参戦する選手も多く、毎年日光ラウンドはかなりの激戦となります。

自分達にとっても日光サーキットはホームコース。昨年取れなかった「単走優勝」「総合優勝」を狙って準備を進めていました。

しかし暗雲が。

日光ラウンドの1カ月前の6月11・12日に滋賀県で開催されたD1GPの事前練習に行った際、練習車両として持ち込んだLIGHTS号をコンクリートウォールにヒットさせてしまい、メインフレームまで及ぶダメージを受けてしまいました。

D1GPが終了と同時に、エンジン・ミッションを降ろし、フレーム修正の為板金屋に持ち込みます。通常なら1カ月以上かかるフレーム修正を約1週間で仕上げてもらい、7月1日の最終テストの5日前に板金屋から引き揚げて来ることが出来ました。

テストまで時間が無い為、エンジン・ミッション換装や、細かいフレーム修理など、走行に最低限支障のない状態で7月1日のテストに臨みます。

## 7月1日（金） 事前テスト

メインフレームのダメージは、人間で言う背骨のダメージと同じで、命取りになる可能性があります。

曲がったフレームが真っすぐになったとしても、ボディ剛性が弱くなり、今まで通りの走りが出来るとは言えないため、慎重にテストを始めます。

実際テスト走行をしてみたところ、全く別のマシンと言って良いほどフィーリングが悪い方向に変わっており、車高やアライメント、ショックの減衰調整ではカバー出来ないほどに、乗り難く、曲がらないマシンになっていました。

7月7日（木）から大会の練習走行が開始されるため、残りの5日間で何とかマシンのフィーリングを元に戻さなくてはなりません。フロント周りのフレームのスポット溶接増しや、足回り系パーツの交換、外装などのフェンダー・バンパー・ボンネット・ライト類の塗装やラッピングなどの作業があったため、準備が終わったのは出発の前日になってしまいました。

しかし、7月1日以降から出発までテストをする時間が無い為、問題が解消されているか分からず、不安を抱えながらの現地入りとなりました。



# REPORT ② 前日練習からRd5

## 7月7・8日（木・金） 練習日

はたして以前のフィーリングに戻っているでしょうか？

不安の中走行を開始しましたが、完全にフィーリングは元に戻っており、1周目から鋭い走りをするマシンにチーム員から笑顔がこぼれます。あとは、今大会初めてのレイアウトとなる土曜日のコースに慣れる事と、マシントラブルを出さない為に、入念なチェックを行う事がメインの仕事となります。

ドライバーも非常にリラックスをしており、良い雰囲気での練習走行を終える事が出来ました。

## 7月9日（土） Rd.5 晴れ 特設コース

当日本番前に走行出来るのはわずか2周。

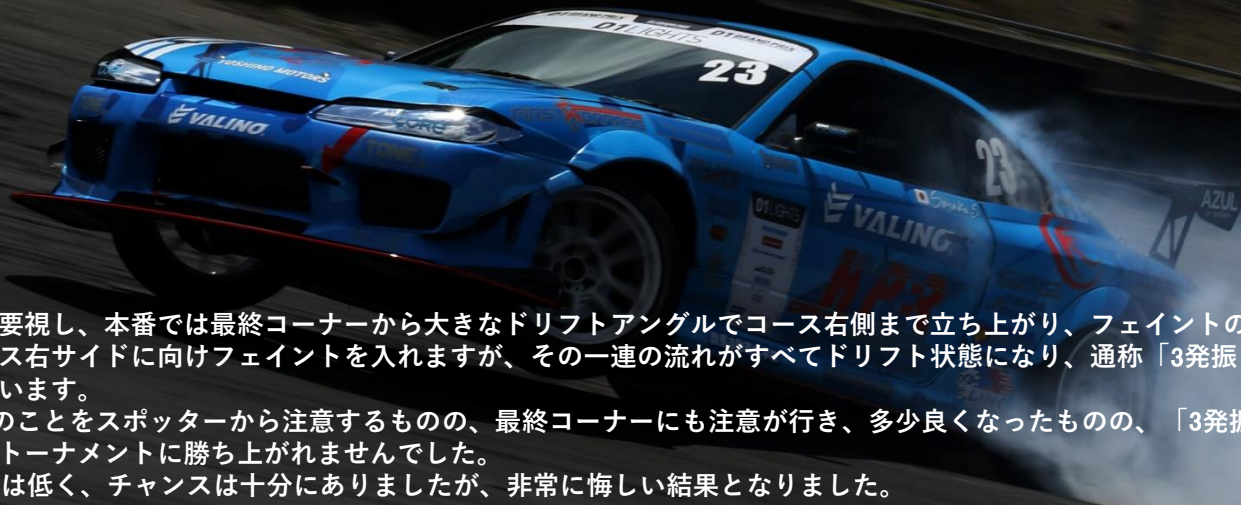
その練習走行後に、最終コーナーのドリフトをチェックしている副審（現役D1ドライバー）から忠告を受けます。

忠告の内容は、

「最終コーナー、ドリフトが戻っている様に見える時があるから、もっとしっかりとドリフトした方が良い。」

と言う忠告でした。

（通常最終コーナーは、ストレートスピードを稼ぐため、グリップ気味で立ち上がりたいのですが、追走になった場合、後ろの車両が離されて、接近した追走にならない場合がある為、最終コーナーをしっかりとドリフトを維持し、車速を抑える対策が、単走から適用されています）



この忠告を重要視し、本番では最終コーナーから大きなドリフトアングルでコース右側まで立ち上がり、フェイントの姿勢を取る為コース中央に寄り、再度コース右サイドに向けフェイントを入れますが、その一連の流れがすべてドリフト状態になり、通称「3発振り」と言う、評価の低い走行になってしまいます。

2本目は、そのことをスポッターから注意するものの、最終コーナーにも注意が行き、多少良くなったものの、「3発振り」と取られ、高得点にはならず、追走トーナメントに勝ち上がれませんでした。

全体的に得点は低く、チャンスは十分にありましたが、非常に悔しい結果となりました。

夜のミーティングでは、最終コーナーの減点を気にせず、もしそこで減点されても、通常の実力を出し切れれば、十分に追走トーナメントに進める事が出来るので、最終コーナーを今までの走らせ方に戻すことに決めました。

# REPORT ③ Rd6単走

## 10日（日）RD.6 曇り/晴れ 通常コース

十分に慣れているレイアウトなので、昨日のミーティング通り思いっきり走るしかありません。本番前の練習でも、最終コーナーも通常通り立ち上がり、リズムよく1コーナーに進入してきます。（路面温度38度）一日曇りの予報でしたが、練習走行後晴れに変わり、気温の上昇と共に路面温度も上がって来ます。若干心配なのは、路面温度の上昇によるタイヤのグリップの変化になります。本番が始まり、他のクラスのマシンの走行を見る限りでは、あまり変化は見られませんが、路面温度は48度を超えてきました。いよいよ順番になります。タイヤグリップに関し若干の不安はありますが、いつもの様に思い切りの良い走りをするだけに集中します。

### 本番1本目

最終コーナーから立ち上がり、思い切り振り出しますが、勢いが良すぎて審査員正面の第2ゾーンでコースアウトをしてしまいます。

### 本番2本目

1本目と同じく勢いに乗って最終コーナーから立ち上がり、1本目の反省を生かし、少し手前から振り出しますが、少し手前過ぎてサイドブレーキで距離を合わせ、しっかりと走り切ります。しかし、サイドブレーキを引いた分アクセルの踏み込みが遅れ、結果11位と言う結果でした。



グリッドウォークにてベスト16の対戦相手・古賀選手と



# REPORT ④ Rd6 追走ベスト16⇒ベスト8

## 追走ベスト16 (1回戦)

対戦相手 古賀誠進選手 後追いスタート

大ベテランで、以前D1GPにも参加していた古賀選手が対戦相手となります。

マシンのにも同レベルのパワーで、タイヤも同じVALINOなので、ストレートで離されなければ良い戦いが出来そうです。

実際にストレートではピッタリと後ろに付き、進入も付いて行きましたが、古賀選手がコースアウトをします。しかし慌てず、しっかりと距離を保ち、アドバンテージを取ります。

先行では、ストレートで古賀選手を若干引き離し、コーナーでもしっかりとゾーンを通過し勝負を決めました。これでベスト8に駒を進めます。

## 追走ベスト8 (2回戦)

対戦相手 伊藤満紀選手 後追いスタート

日光がホームコースで、昨年日光でのLIGHTSで優勝している、こちらも大ベテランの選手になります。マシンのにはパワーは伊藤選手に分がありますが、タイヤは同じくVALINOタイヤ、しかし4ドアの重量級マシンと言う事もあり、ストレートで離さなければ良い勝負が出来そうです。

後追いで、ストレートでしっかりと間を詰めています。

そしてコーナーに進入しますが、またも先行の伊藤選手がコースアウト。アドバンテージを取ることが出来ました。

先行ではピッタリとストレートで食いつかれています、思い切りの良い飛び込みをみせます。

しかし、若干小さくなりゾーン外しを取られます。

これでまさかのサドンレスになってしまいます。

タイヤを交換し、再度後追いからスタートします。

前回と同じようにピッタリとストレートでもコーナーでも付き、アドバンテージを取ることが出来ました。あとは先行でしっかりと決めるだけです。

その時ドライバーから「パワステが効かない」と報告が入ります。

コース上のホットピットで修理出来る時間は5分間、しかも原因はパワステの高圧ホースの破れで、スペアパーツはピットに置いてきてしまっているため、交換するパーツも無いことから、やむなくリタイヤ届けを出しました。

## <終わりに>

シリーズトップの最上選手がRd.5/6で単走敗退と言う事や、土曜日のRd.5の上位3名が全員翌日のRd.6の追走に残っていないことから、日光サーキットが得意な選手が多く、差の出にくいコースとなります。しかしその厳しい中で結果を出す事に意味があると思っていますので、マシントラブルによるリタイヤは避けなければならないと思います。

その為に、消耗品の交換頻度の再度見直し、素材の変更と言う事も頭に入れ、戦っていきます。

次戦は、最終戦の岡山県「備北サーキット」になります。しっかりと練習日、メンテナンススケジュールを決め、優勝目指して頑張っていきますので、引き続き応援よろしくお願い致します。

# 会場スナップ&メディア発信

チームサヤカの魅力と財産は「仲間」です。

人気者のサヤカ、D1GP同様、多くのファンの長い列が出来ます。



大会はD1MOVIE CHANNELでライブ配信され、サヤカのYouTubeとSNSでも大会の様態をレポート、さらに、オートスポーツ、オプション、みんなカラ(yahoo!)など提携有力メディアが広くサヤカの活動を発信します。

Drifting SayakaくるくるTUBE



**YouTube** チャンネル登録者数  
累計2251万回再生 99,000人



**Instagram** フォロワー数  
81,200人



**Twitter** フォロワー数  
21,200人

(※人数は22年7月19日現在)



D1GP MOVIE CHANNEL



情報発信



## TOPIC 1: TGRラリー 渋川大会

【コラム】下田紗弥加の可能性 Vol.6～初ラリーはガードレールにフレンチキッス♡？

そして重大発表も～ **NEW**



※タイトル・写真は「みんカラ」記事から

7月3日TGRラリー(渋川大会)  
デビュー戦はエキスパートクラス9位。



左から、小倉基宏群馬自動車大学校・東京自動車大学校長、下田紗弥加、コドラ木村悟士選手

WRCラリージャパン公式応援団長に就任！



同じクラスに出場された小倉クラッチの小倉康宏社長、佐々木雅弘選手と記念撮影



## TOPIC 2: ユアサ車検アンバサダー

「ユアサ車検」アンバサダーに就任。  
8月、千葉県下でサマーキャンペーン実施。

お得で安心!

年間10,000台実施の  
ユアサ車検!!



CHIBAから  
はばたけ世界へ!!

株式会社 湯浅は  
D1  
ドライバー 下田 紗弥加 選手を  
応援しています!!



下田紗弥加選手の公式YouTubeチャンネルはこちら▲▲